

令和6年度外部評価会 集計表(農業者用)

所属名: 大島支庁沖永良部事務所農業普及課

| 課題名③ | | 自給飼料の確保を目指したトランスバーラの普及 | | | | | | | |
|-----------|-------------------------------|------------------------|------|-----|--|--|--|--|--|
| 項目 | 評価の視点 | 評価結果(人) | | | 外部委員からの意見・提言 | 意見・提言等に対する改善策や普及指導計画への反映等 | | | |
| | | 適当 | 概ね適当 | 要改善 | | | | | |
| 課題の設定 | ①農業者や地域が必要とする課題であるか | 5 | 2 | 0 | ・自給飼料の安定確保のためにとても良い普及活動である。 | 来年度の普及指導計画においては、重点活動として取り組むこととしている。 | | | |
| 対象の選定 | ②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか | 7 | 0 | 0 | 肉用牛農家には、最良の課題である。 | | | | |
| 活動体制・活動方法 | ③関係機関とうまく連携して活動しているか | 2 | 5 | 0 | ・農業者へのさらなる周知、情報提供が必要である。 ・ラミネートによる研修資料は良いアイデアだと思う。 | 来年度の普及指導計画においても研修会等を開催し周知、情報提供を行うこととしている。 | | | |
| | ④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか | 4 | 3 | 0 | | | | | |
| | ⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか | 4 | 3 | 0 | | | | | |
| 活動の成果 | ⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか | 2 | 5 | 0 | ・農家全体への普及をさらに進めて欲しい。 | 来年度の普及指導計画においても研修会等を開催し周知、情報提供を行うこととしている。 | | | |
| 活動の波及性と改善 | ⑦他の課題や他農業者、地域への波及性があるか | 4 | 2 | 1 | ・町内会等を通じての普及も必要である。 ・トランスバーラは、今後普及が進むと思う。 ・植付後の雑草対策が重要であると感じる。 | ・来年度も、メディア等を通じ幅広く普及していくこととしている。 ・植付後、1年間は人力による雑草抜き取りは、不可欠なため、指導していくこととしている。 | | | |
| | ⑧結果が十分でないものは今後の対策を考えられているか | 2 | 5 | 0 | ・境界を越えて隣地へ侵入し雑草化が心配である。 | ・ほ場を越えての雑草化については、種子繁殖でないことと、草高が低いため、ギニアグラスほどはないが、境界での定期的な除草剤散布等の助言を実施予定である。 | | | |

令和6年度外部評価会 集計表(関係者用)

所属名: 大島支庁沖永良部事務所農業普及課

| 課題名③ 自給飼料の確保を目指したトランスバーラの普及 | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------------------|---------|------|-----|---|---|
| 項目 | 評価の視点 | 評価結果(人) | | | 外部委員からの意見・提言 | 意見・提言等に対する改善策や普及指導計画への反映等 |
| | | 適当 | 概ね適当 | 要改善 | | |
| 課題の設定 | ①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか | 12 | 0 | 0 | ・自給粗飼料確保対策として非常に重要な課題である。 ・トランスバーラの有利性がよく理解できた。 | ・来年度の普及指導計画においては、重点活動として取り組むこととしている。 |
| 対象の選定 | ②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか | 10 | 2 | 0 | ・さらなる普及が必要なため、ともにPRしていきたい。 | ・普及センターだより、畑かんだより等でのPRをはじめ、セリ前研修等での周知を図っていく。 |
| 活動体制・活動方法 | ③関係機関と連携して活動しているか | 12 | 0 | 0 | ・緊密な連携ができていると思います。 | ・来年度の普及指導計画においてはも研修会等を開催し周知、情報提供を行うこととしている。 |
| | ④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか | 11 | 1 | 0 | ・植付方法も細かに検討を重ねており、最も効果的な方法を農家に伝えることができていると思います。 ・普及の上での植付方法や施肥についてよく研究されているので、さらに取組を進めて欲しい。 | |
| | ⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか | 11 | 1 | 0 | | |
| 活動の成果 | ⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか | 9 | 3 | 0 | ・町有地での栽培状況を見て、非常に有望な牧草であると感じる。引き続き町としても普及が図られるよう協力したい。 ・畜産農家の経費削減に非常に効果的であり、栽培面積拡大が進んでいると思います。 | ・3か町毎に設置しているトランスバーラ苗供給ほ場での展示、研修会等を通じ普及していくこととしている。 |
| | ⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか | 11 | 1 | 0 | | |
| 活動の波及性と改善 | ⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか | 11 | 1 | 0 | ・非常に厳しい畜産経営が続いているが、稼ぐ力の向上に寄与する活動であると考えます。 | ・来年度の普及指導計画においては、重点活動として取り組むこととしている。 ・知名町においての栽培は、バレイショ後作でのソルガム作付面積等が多いこともあるが、狭い畑等での作付けを個別毎に行っていきたい。 |
| | ⑨結果が十分でないものは今後の対策を考えられているか | 9 | 3 | 0 | ・知名町での栽培拡大が低い理由がわからない。 | |

自給飼料の確保を目指した 「トランスバーラ」の普及



知名町現地研修会



「トランスバーラ」



与論町現地研修会

大島支庁沖永良部事務所農業普及課 大久保剛

1. 現状と課題 → 目標

現状・課題

○子牛価格低迷

○飼料費高騰

○基幹牧草「ローズグラス」

収量・品質低下



「ローズグラス」

目 標

○飼料費低減で
経営安定

↑
良質自給飼料の
確保



1. 現状と課題

県内子牛価格(去勢離税込み)



子牛価格低迷 飼料費高騰

子牛価格: 約26万円の下落

飼料費: 約7万円/頭の上昇



1. 現状と課題

ローズグラスの雑草繁茂, 褐点病による枯死

シナダレスズメガヤ
(力草)

かつてんびょう
褐点病



タチアワユキセンダン
グサ (サシ)

種が、服について
あちこちに運ばれ
繁茂

畑の出入り口に多く
発生し、株元が非常
に強い

高温、多湿で発生し、
カビが原因の病気



1. 現状と課題 → 目標

現状・課題

- 子牛価格低迷
- 飼料費高騰
- 基幹牧草「ローズグラス」
収量・品質低下
→ 雜草、褐点病
- ▲ 有望草種「トランスバーラ」
栽培低迷

目標

- 飼料費低減で
経営安定
- ↑
良質自給飼料の
確保
- トランスバーラ
栽培拡大

2. 活動・支援体制

沖永良部畜産部会・与論畜産部会

実証内容の企画立案
調査・分析、研修会講師

苗供給場提供
研修会の開催調整

畜産部会員
スキルアップ

県農業普及課

各町

J A あまみ

共済組合

家畜保健衛生所



1. 現状と課題

基幹牧草との比較

トランスバーラは、出穂が
ほぼ見られず、収量、栄養、嗜好性ともに良好！

| | トランスバーラ | ローズグラス (基幹) |
|---------|---------|----------------|
| 収量性 | ◎ | ○ |
| 栄養性 | ○ | △ |
| 嗜好性 | ◎ | ○ |
| 草地永続性 | ◎ | △ |
| 草地造成の難易 | △ | ◎ |



栄養
繁殖



種子
繁殖

3. 活動内容：栽培実証

① 最も活着が高い植付法の模索
ばらまき、株移植、条植え

② 植付初期の収量アップのため、カバークロップ
栽培の有利性を検証

③ 適正施肥量、収穫時期、栄養成分の把握



3.活動内容：栽培講習会

トランスバラ現物によるセリ前研修会



セルトレイでの育苗(与論)



苗をもらったので、植えてみようかな…



現地体験型研修会



研修会後に苗配布(沖永良部)

4.活動成果

② カバークロップ栽培の有利性を検証

①発芽が早い牧草で雑草を抑制

②刈取後再生しないので、トランスバラが広がる

カバークロップとは、「被覆作物」のことで、雑草防除だけでなく、その作物(牧草)も粗飼料として利用で可能



春夏植付け実証(R5)
(テフグラス, アワ栽培)



秋の植付け実証(R6)
(イタリアンライグラス栽培)

4.活動成果

①最も活着が高い植付法の摸索

1 ばらまき法



梅雨前でないと失敗するリスク大

3 条植え法



2か月後

2 株植え法



活着良好だが、苗の採取に労力かかる

4.活動成果

③ 適正施肥量、収穫時期、栄養成分の把握

かん水試験
(畑かん担当との連携)



- ・適正施肥量: 窒素5kg/10a
- ・かん水で収量大幅アップ
- ・夏場1回/月、7回/年収穫が可能



3か町苗供給ほ場設置と
畜産部会員のスキルアップ

4.活動成果

A3両面カラー用紙 をラミネート加工し た栽培暦

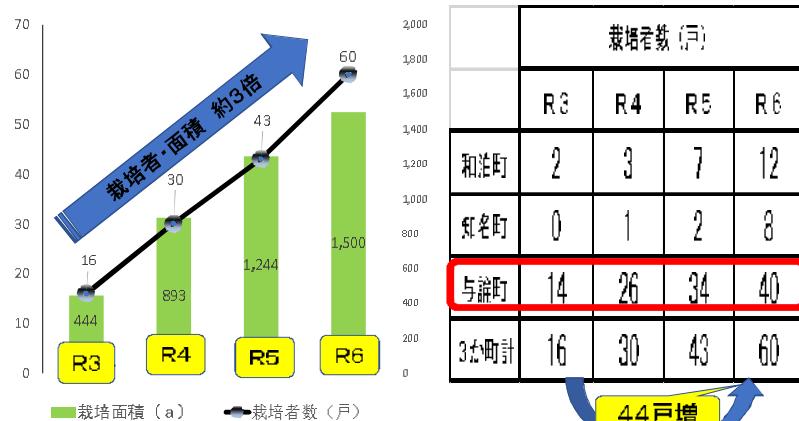


表

裏

4.活動成果

管内3町の「トランスバーラ」栽培の推移



4.活動成果

○栽培開始の農家の声

ローズは3年すれば雑草だらけだが、トランスバーラは、雑草が生えないので、栽培面積を増やします。



知名町苗供給畑
での苗採取



与論町農家の条植え

「トランスバーラ」草地の外観

○地域農業への貢献

管内3町は、苗供給ほ場設置等栽培拡大に積極的で、肉用牛農家飼料費低減への期待が高い

5.今後の課題と目標

ばらまき法で
植け付失敗



トランスバーラ草地造成の失敗散見

→苗植付けのポイントの周知

苗はランナー利用 &
畑の土壌水分保持



植付に最適な
ランナー

トランスバーラの子牛給与効果の確認

→調査研究での取組



5.今後の課題と目標

奄美群島だけではない南西諸島等での有効性の実証

種子島・屋久島・飯島
では？



農業の稼ぐ力を
最大に引き出
す！

